



あか けん じ  
赤 嶺 謙 二

## 太陽光発電、やるべき

～最良の方法の一つ～

**質** 今この時期に、自治体が直営でやるべき事業ではない、との声がある。  
しかし、今この時期だからこそ、跡地利用の観点からもやるべき、と思うが。

**答** 市長  
学校跡地などの遊休公有地を有効活用して自主財源を確保することは、本市にとって最良の方法の一つであると考え、計画を推進しているところです。



候補地の旧上緒方小学校跡地



旧西部清掃センター跡地(大野町・緒方町)

**質** 市長が思い描いている本市の未来像は。

**答** 市長  
市民が主体性と誇りを持って自治を行うまちこそ、我が豊後大野

市の未来の姿です。この未来の姿を実現するために政策理念として、①安全安心コミュニティの形成、②農林畜産業の振興、③産業集積と定住促進、

④地域振興と観光交流人口の拡大、⑤芸術・文化・教育・スポーツが躍動するまちづくりの5点を掲げ、本市の発展に取り組んでいきたいと考えています。

～主体性と誇りを持つ～

## 豊後大野市に熱あれ、光あれ

**質** 平成24年9月議会での一般質問に関連して、批判をいただいた。それによると、自己批判やお詫びではなく、計画の見直しや新たな提案をすべきとあった。

**答** まちづくり推進課長  
市としても、後藤学園の拡充・発展を願う

契約書を交わした今となって、本当にそれが可能か。  
ところですが、利用計画の見直しや新たな提案については、学園の教育方針や運営に関わることであり、市が関与することは難しいと考えています。

～見直しや提案は難しい～

## 旧三重高校の跡地利用

## 災害から市民をどう守る

～新たに170人の防災士が誕生～

**質** 独り暮らしの方や高齢者の多い本市において、市民の方々をどう守り、防災意識の高揚を図るのか。  
また、高齢化に伴う生活道路の整備をどう考えているのか。

**答** 総務課長  
平成24年度は、県と共同で防災士の養成講座を開催した結果、新たに170人余りの防災士が誕生する見込みで、地域における防災リーダーとして、自主防災組織活動を牽引していただきたいと考えています。  
また、生活道路の整



え とう まさ ひろ  
衛 藤 正 宏



大分県防災士養成研修(豊後大野市会場)

備については、市道の除草のほとんどを自治区の自主的な道路愛護作業に担っていただいている現状で、作業していた約1091キを単純に作業委託の単価で試算すると、1億円以上の費用が必要となることや作業の適期が夏期に集中することなどから、高齢化が進む中で大変困難になっていると考えますが、今後も地域の課題として可能な限り道路愛護作業の継続をお願いしたいと考えています。

要となることや作業の適期が夏期に集中することなどから、高齢化が進む中で大変困難になっていると考えますが、今後も地域の課題として可能な限り道路愛護作業の継続をお願いしたいと考えています。

## 「大分の野菜畑 豊後大野」を 伝達できるプロの育成は

～農業広報専門員などの配置を検討～

**質** 農産物価格の低迷は、農業所得の減少や農業者の減少を招く。これからの農業は、安心してものづくりのできる農業でなくてはならないと考えるが、「大分の野菜畑 豊後大野」の農産物を宣伝できる農業広報専門員などの人選、育成により、生産者と消費者をつなぐコミュニケーションの設置について伺う。

**答** 市長  
農業広報専門員や地産品推進員は、専門的な役割を担うものとして大きな期待ができませんので、J Aと連携を取りながら配置について検討していきます。